

## 2. 高校生への通学費助成について

### 質問 かじ

昨年9月から北神急行を利用する高校生への通学費助成が実施されている。一方で、北神急行に次いで運賃が高いような鉄道事業者を使っている場合、もしくはバスと電車を併用して利用している場合も通学費が高額になっている現状がある。昨年度、高校生を対象としたアンケートが実施されたが、それぞれの意見を踏まえて今後の制度をどうされるのか伺いたい。

### 答弁 都市局長

高校生の通学費助成に関するアンケートについて分析の結果、運賃の高い鉄道や対距離料金制のバス路線、乗り継ぎ回数が多いルートなどで通学費が高くなる傾向が見られている。制度面、費用面の両面において課題の解決が可能かどうか今後十分に検討してまいりたい。

### 要望 かじ

通学手段等の違いによる**平等性・公平性**についても、より**慎重に検討**いただきたい。

## 3. 新長田エリアの活性化について

### 質問 かじ

新長田駅南地区では今年6月に県市合同庁舎が完成し、まちのにぎわい創出にも寄与している。この地区の復興事業について震災から四半世紀が経とうとしているが、今後の事業見通しは。

### 答弁 新都市事業部長

新長田駅南地区においては、震災復興事業として災害に強いまちづくりを進めてきた。事業計画の残る工区について、マンションや複合施設さらに県立総合衛生学院の移転などが検討中だ。

一部都市計画の変更等があるが早期に事業終息のめどを立てたいと考えている。

### 質問 かじ

新長田へ訪れる人の増加に向けて、バスでのアクセス向上策として、**駅前にバスロータリーを整備**できないかと考えるがどうか。

### 答弁 都市局担当部長

現在、**バスロータリーを整備を含む駅前広場の再整備を検討**しており、交通利便性や拠点性を向上させ、さらなるまちの活性化を図りたい。

## 4. 西神中央駅の駅前空間の活用について

### 質問 かじ

西区役所の新庁舎、文化芸術ホールの整備等進んでいるが、これにあわせて**駅前空間の活用が1層重要**と考えている。人が集まるようなにぎわいのある取り組みをお願いしたいが、現状どのような考えがあるか。

### 答弁 市街地整備部長

プレンティ広場について現在、検討会を設けながら整備の検討をしている。バリアフリー化やにぎわいづくりの観点から議論を進めたい。

オールドタウン対策や賑わいづくりについて、民間事業者の視点も取り入れながら、駅前を地域の拠点性、ブランド力向上にも資する空間として積極的に活用してまいりたい。



### 要望 かじ

西神中央のエリアについては、**西区の拠点として今後より活性化**していくために、**利便性を高めて市民が利用しやすい空間**になるように強く要望しておきたい。

## 1. 市内公共交通のあり方及び施策の進め方について

### 質問 かじ

少子・超高齢化、人口減少が進む今後の神戸のまちづくりについて、マイカーでの移動に過度に依存する社会からの転換が求められている。今後、市内公共交通網の充実について政策の重要度は増すと考えている。

特に西区では交通空白地域が多く、区役所や出張所で地域における公共交通の課題を集約し、本庁と連携しながら、これからの公共交通がどうあるべきかをしっかりマネジメントしてもらいたいと考えるがどうか。



### 答弁 久元市長

区役所では地域コミュニティ交通を地域の皆さんと考え、全体の公共交通網は市全体で考えていく必要がある。このように公共交通は鳥の目と虫の目として役割分担しながら進んでいくことが適当だと考える。一方で区役所における交通需要の把握も非常に大事であり、ご指摘も踏まえ、本庁と区役所の役割分担を検討していきたい。

### 要望 かじ

公共交通は、市民生活になくはならないライフラインであり、都市の装置としてさらに充実させていけるよう、市として**事業者や市民の声に耳を傾けながら、コーディネートをする役割**を果たしてもらいたい。

## かじ視点

### 教育現場を見てきた「かじ幸夫」の思い

私は地域活動の一環で学校現場に長く関わってきました。日々子供たちに向き合い頑張っている教職員に心を寄せて今こそエールを送り応援していく必要があると思っています。

### 「すべては子供たちのために」

その思いを共有できる先生方とはしっかり連携します。一生懸命頑張る教職員を支えていく、そうすることで子供たちはより充実した学校生活を送ることができると思っています。



### 中学校給食を試食

10月29日本会議のお昼に中学校給食を試食させていただきました。安全面、衛生面、そして経費の面でも多くの苦労があるだろうと感じながらそれを踏まえ率直においしくいただきました。事業者の方、給食検討委員会の方など、中学生の



ために真摯に議論いただいた関係の皆さんに心から敬意を表しつつ、今後も**子供たちの声をより反映**していただき、よりよい給食にしてほしいと思います。

